

# 幼児教育コース

- 同じ夢をもつ仲間と学び会い、実践・理論の両面から専門性を高めます。
- 子どもを愛し、その主体性と創造力を尊重する保育者を目指します。
- 保育を通じ、子どもの豊かな人間形成と、社会の発展に貢献します。

幼児教育コースでは、保育・教育・子育て支援現場と連携し総合的に学べる4年間を通じ、多彩な知性・感性・創造性を身につけた専門職の養成を目指しています。

1年次は他コース学生と一緒に、大学生として必要な知識、教養、コミュニケーション力などについて広く学びます。2年次より専門科目を中心とするコース独自の学修が本格的に始まり、幼稚園教諭免許・保育士資格・小学校教諭免許等の取得に向け、実践と理論の両面を大切に、保育・幼児教育について多方面から学びます。また、2年次より高松市内の公立保育所や県内の児童福祉施設等での実習が始まります。

授業以外の活動では、小豆島で毎年実施している「オリーブの島保育合宿」において、島の子どもたちや現場の先生方と交流し、様々な保育の視点を得ることができます。また学部行事である「未来からの留学生」や、コース独自の行事である散歩を通じての近隣保育所との交流、大型児童館「さぬきこどもの国」での子育て支援イベントの共同開催など、地域に根ざした取り組みから学ぶことができる多様な場が準備されています。

幼児教育コースでは楽しく、そして深く幼児教育を学べます。大学生活や実習、行事を通して、学生同士の絆を学年を越えて深め、卒業してからも支え合える仲間と出会えます。幼児教育コースに少しでも興味を持った方、ぜひ私たちと一緒に学びましょう。



[担当教員はこちら](#)

[専門科目の履修パターンはこちら](#)